



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	17-9782-8	版	1.01
発行日	2024/01/16	前発行日	2021/03/10

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

インプリント™ II印象材 ペンタ™ ヘビーボディ

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

16-6386-3, 16-6385-5

輸送上の注意

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む(これらに限定されるものではありません) 適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-6386-3	版	1.01
発行日	2021/02/18	前発行日	2021/01/14

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

インプリント™ II印象材 ペンタ™ ヘビーボディ キャタリストペースト

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語
適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ケイ酸アルミニウムナトリウム	37244-96-5	60 - 80

キャタリストビニルポリシロキサン	68083-19-2	10 - 30
ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9	1 - 20
シラン処理シリカ	67762-90-7	1 - 5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気的环境下に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：通常の燃焼性物質の消火に適した水あるいは泡消火剤などを使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧なし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で

漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 掃き集める。 掃除機（防爆型）で吸い取るか掃き集める。 警告：モーターは着火源になり、漏洩場所の可燃性ガス、蒸気又は粉じんを燃焼させたり、爆発させたりする可能性がある。 密閉容器に収納する。 残さを清掃する。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

皮膚への長時間又は反復接触を避ける。 この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後は手指をよく洗うこと。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。 アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ペースト
色	赤色
臭い	やっと感じることができるにおいて、特異的な臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	データはない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	引火点>93°C
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない。
密度	>= 1 g/cm ³
比重	>= 1 [参照基準: 水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	40,000 - 150,000 mPa·s
揮発性有機化合物	適用しない。
揮発分	適用しない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	適用しない。
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

アミン類

強酸

強塩基

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値2,000 - 5,000 mg/kg
ケイ酸アルミニウムナトリウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ケイ酸アルミニウムナトリウム	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
キャタリストビニルポリシロキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,440 mg/kg
キャタリストビニルポリシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 15,440 mg/kg

ポリ (ジメチルシロキサン)	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,400 mg/kg
ポリ (ジメチルシロキサン)	経口摂取	ラット	LD50 > 17,000 mg/kg
シラン処理シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シラン処理シリカ	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シラン処理シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ケイ酸アルミニウムナトリウム	専門家による判断	刺激性なし
キャタリストビニルポリシロキサン	ウサギ	刺激性なし
ポリ (ジメチルシロキサン)	ウサギ	刺激性なし
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ケイ酸アルミニウムナトリウム	専門家による判断	軽度の刺激
キャタリストビニルポリシロキサン	ウサギ	軽度の刺激
ポリ (ジメチルシロキサン)	ウサギ	刺激性なし
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理シリカ	ヒト及び動物	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
シラン処理シリカ	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シラン処理シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代
シラン処理シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
シラン処理シリカ	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理シリカ	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ケイ酸アルミニウムナトリウム	37244-96-5		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
キャタリストビニルポリシロキサン	68083-19-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A

ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9		る。 分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
シラン処理シリカ	67762-90-7		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ケイ酸アルミニウムナトリウム	37244-96-5	データ不足			N/A	
キャタリストビニルポリシロキサン	68083-19-2	データ不足			N/A	
ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9	データ不足			N/A	
シラン処理シリカ	67762-90-7	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ケイ酸アルミニウムナトリウム	37244-96-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
キャタリストビニルポリシロキサン	68083-19-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
シラン処理シリカ	67762-90-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

適用しない。

主な法規制物質

		法規名		
成分	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法	
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	

16. その他の情報**改訂情報**

セクション1：担当部門の電話番号 情報修正。

セクション1：製品名 情報修正。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



安全データシート

Copyright, 2025, Solventum. All rights reserved. 本情報は、ソルベントム社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) ソルベントム社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-6385-5	版	1.02
発行日	2025/02/27	前発行日	2021/02/10

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

インプリント™ II印象材 ペンタ™ ヘビーボディ ベースペースト

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

歯科用製品

使用上の制限

歯科医療者による使用に限定

1.3. 会社情報

供給者	ソルベントム合同会社
所在地	東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	デンタルソリューション事業部
電話番号	0120-332-329

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害区分に該当しない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	None	50 - 70
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	68083-19-2	20 - 40
ポリ (ジメチルシロキサン)	63148-62-9	1 - 20
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	1 - 20
ベースシロキサンコポリマー	68037-59-2	1 - 10
酸化アルミニウム	1344-28-1	< 5
三酸化クロム	1308-38-9	0.49
C. I. ピグメントブルー 28	1345-16-0	0.22

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合

応急処置は不要。

眼に入った場合

応急処置は不要。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物**物質**

一酸化炭素
 二酸化炭素
 刺激性蒸気あるいはガス

条件

燃焼中
 燃焼中
 燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

皮膚への長時間又は反復接触を避ける。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管

熱から離して保管する。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。アミンから離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
三価クロム化合物	1308-38-9	ACGIH	TWA (Cr (+3)として, 吸引性画	A4: ヒトに対する発が

			分):0.003 mg/m3	ん性物質として分類できない物質
三価クロム化合物	1308-38-9	JSOH OELs	TWA (クロムとして) (8時間) : 0.5 mg/m3	皮膚感作性。呼吸器感作性のおそれ。
Cr (+3), 可溶性塩	1308-38-9	ACGIH	TWA (Cr (+3)として, 吸引性画分):0.003 mg/m3	A4 : ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質。皮膚//呼吸器感作性物質。
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間):2 mg/m3;TWA (吸入性粉じんとして) (8時間):0.5 mg/m3	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性画分) : 1mg/m3	A4 : ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入粒子) : 10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの、吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性粒子) : 3 mg/m3	
コバルト化合物	1345-16-0	JSOH OELs	TWA (コバルトとして) (8時間) : 0.05mg/m3	
コバルト無機化合物	1345-16-0	ACGIH	TWA (Coとして, 吸入性画分): 0.02 mg/m3	A3 : 動物に対して発がん性が確認された物質。皮膚、吸入器感作性
コバルト無機化合物	1345-16-0	ISHL	TLV (Coとして) (8時間) : 0.02mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL (濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m3 : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	ペースト
色	茶色
臭い	やや甘い臭い'
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない
引火点	引火点>93°C
蒸発速度	適用しない
引火性	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	適用しない
相対蒸気密度	適用しない
密度	約 1 g/cm ³
比重	約 1 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	適用しない
揮発分	適用しない
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	適用しない
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	適用しない
------	-------

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

アミン類

強酸

強塩基

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

発がん性

以下の健康影響の原因になるような暴露は、通常の用途では予想されない：

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	経口摂取		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,440 mg/kg
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 15,440 mg/kg
疎水性二酸化ケイ素	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
疎水性二酸化ケイ素	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
ポリ (ジメチルシロキサン)	皮膚	ウサギ	LD50 > 19,400 mg/kg
ポリ (ジメチルシロキサン)	経口摂取	ラット	LD50 > 17,000 mg/kg
ベースシロキサンコポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ベースシロキサンコポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
三酸化クロム	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
三酸化クロム	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.41 mg/l
三酸化クロム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
C. I. ピグメントブルー 28	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
C. I. ピグメントブルー 28	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
C. I. ピグメントブルー 28	吸入－粉塵 / ミスト (4 時間)	類似化合物	LC50 > 5.06 mg/l

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された		刺激性なし

水晶		
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	ウサギ	刺激性なし
疎水性二酸化ケイ素	ウサギ	刺激性なし
ポリ（ジメチルシロキサン）	ウサギ	刺激性なし
ベースシロキサンコポリマー	ウサギ	刺激性なし
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
三酸化クロム	ウサギ	刺激性なし
C. I. ピグメントブルー 28	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	ウサギ	軽度の刺激
疎水性二酸化ケイ素	ウサギ	刺激性なし
ポリ（ジメチルシロキサン）	ウサギ	刺激性なし
ベースシロキサンコポリマー	ウサギ	軽度の刺激
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
三酸化クロム	ウサギ	刺激性なし
C. I. ピグメントブルー 28	In vitro data	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
疎水性二酸化ケイ素	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ベースシロキサンコポリマー	モルモット	区分に該当しない。
三酸化クロム	類似化合物	区分に該当しない。
C. I. ピグメントブルー 28	類似化合物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
C. I. ピグメントブルー 28	専門家による判断	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
疎水性二酸化ケイ素	In vitro	変異原性なし
ベースシロキサンコポリマー	In vitro	変異原性なし
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
三酸化クロム	In vivo	変異原性なし
三酸化クロム	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
C. I. ピグメントブルー 28	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性
疎水性二酸化ケイ素	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
三酸化クロム	経口摂取	ラット	発がん性なし
C. I. ピグメントブルー 28	吸入した場合	類似化合物	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1世代
疎水性二酸化ケイ素	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
三酸化クロム	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	90日
三酸化クロム	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	90日
三酸化クロム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	90日

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
三酸化クロム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 40 mg	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
疎水性二酸化ケイ素	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
三酸化クロム	吸入した場合	免疫システム 呼吸器系 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 44 mg/m ³	90日

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無

い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	None	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	68083-19-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ベースシロキサンコポリマー	68037-59-2	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足してい	該当なし	該当なし	該当なし

			る。			
酸化アルミニウム	1344-28-1	魚	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
三酸化クロム	1308-38-9	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
三酸化クロム	1308-38-9	ミジンコ	推定値	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
三酸化クロム	1308-38-9	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
三酸化クロム	1308-38-9	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
三酸化クロム	1308-38-9	ミジンコ	推定値	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
三酸化クロム	1308-38-9	ゼブラフィッシュ	推定値	30 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	None	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	68083-19-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリ（ジメチルシロキサ	63148-62-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

ン)						
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ベースシロキサンコポリマー	68037-59-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
C. I. ピグメントブルー 28	1345-16-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
三酸化クロム	1308-38-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シルセスキオキサン、メチル、エトキシ末端処理により表面修飾された水晶	None	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビニル基末端ポリジメチルシロキサン	68083-19-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ポリ（ジメチルシロキサン）	63148-62-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
疎水性二酸化ケイ素	67762-90-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ベースシロキサンコポリマー	68037-59-2	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
C. I. ピグメントブルー	1345-16-0	分類にデータが利用でき	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

28		ない、あるいは不足している。				
三酸化クロム	1308-38-9	推定値 BCF-その他		生物濃縮係数	800	

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

消防法：指定可燃物（可燃性固体類）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
C. I. ピグメントブルー 28	コバルト及びその化合物	該当	該当	該当
三酸化クロム	クロムおよびその化合物	該当	該当	該当
三酸化クロム	クロム及びその化合物（クロム酸及びクロム酸塩並びに重クロム酸及び重クロム酸塩を除く。）	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

- セクション 15 : 労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
- セクション 15 : 労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
- 使用上の制限 情報の追加.
- セクション 1 : 所在地 情報修正.
- セクション 1 : 担当部門の電話番号 情報修正.
- セクション 1 : 担当部門名 情報修正.
- セクション 1 : 供給者名 情報修正.
- セクション 1 : 製品名 情報修正.
- セクション 1 : 製品用途 情報の追加.
- セクション 2 : GHS分類 情報修正.
- セクション 3 : 成分表 情報修正.
- セクション 4 : 応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
- セクション 4 : 応急措置(吸入した場合)の情報 情報修正.
- セクション 4 : 応急措置(皮膚の接触した場合)の情報 情報修正.
- セクション 5 : 火災時情報(消火剤) 情報修正.
- セクション 6 : 事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション 7 : 貯蔵情報 情報修正.
- セクション 7 : 取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション 8 : mg/m³ 記号 情報の追加.
- セクション 8 : 作業環境許容値 情報修正.
- セクション 8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
- セクション 8 : 保護具 - 眼 情報修正.
- セクション 8 : ppm 記号 情報の追加.
- セクション 9 : 沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
- セクション 9 : 蒸発速度情報 情報修正.
- セクション 9 : 燃焼性(固体、ガス)情報 情報の削除.
- セクション 9 : 引火性情報 情報の追加.
- セクション 9 : 燃焼点(下限)情報 情報修正.
- セクション 9 : 燃焼点(上限)情報 情報修正.
- セクション 9 : 動粘度情報 情報の追加.
- セクション 9 : 色 情報修正.
- セクション 9 : 粒子特性 適用しない 情報の追加.
- セクション 9 : 揮発分 情報修正.
- セクション 9 : pH情報 情報修正.
- セクション 9 : 蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
- セクション 9 : 蒸気圧 情報修正.
- セクション 9 : 粘度 情報の削除.
- セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション 10 : 燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション 11 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 発がん性の表 情報修正.
- セクション 11 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 11 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 11 : 呼吸器感作性の表 情報の追加.
- セクション 11 : 呼吸感作性 情報の削除.
- セクション 11 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.

- セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1.4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1.5 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報の削除.
- セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 1.6 : Webアドレス 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

ソルベンタムジャパンのSDSはSolventum.comから入手できます。